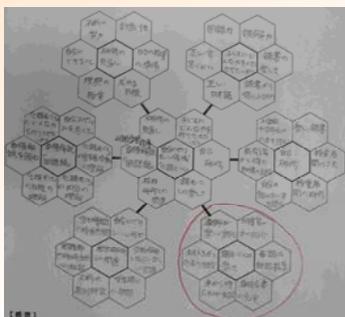


1 班別研修に対する所感

- 指導主事の先生方が、説明的な文章の授業や作文指導について、教材を使った実践的なワークショップを行ってくださったり、児童の視点に立って考えたり、授業者としてどのような指導をすれば国語力が高まるのかを考えることができた。
- 自己課題についてN2法を用いて研修主題のイメージを広げることができた。
- 各領域に分かれた班全員のテーマについて、授業のビデオを基に授業改善を考えたり、授業改善の方法について研修したりすることで、新しい考え方や工夫を見つけ、各自の授業に生かすことができた。



【N2法】



3 授業参観協力校等での授業参観に対する所感

- 中学生がグループごとに故事成語を選び、その内容にあった発表方法を考える学習活動が見られた。話し合い過程で生徒同士が協力して、紙芝居や寸劇の制作に生き生きと取り組んでいる様子を見て、小学校の国語授業づくりへのヒントをいただいた。
- 学習プリントが文語と口語で2段に分かれて書かれ、文語の意味を理解するのに参考になった。また、中間報告を行うことで、他のグループと自分たちのグループの方法の共通点や相違点、進度などを確認させることができた。

●伊勢崎市立宮郷第二小学校 高山規一郎教諭
●太田市立太田小学校 小嶋 恵子教諭

2 多彩な講師陣による講義や講話に対する所感

- 講話の中での「時代を超えても変わらないもの」「原点に戻って物事を見つめること」の大切さがよく分かった。子どもたちに教育の本質や人間としての在り方などを教えられる教師でありたいと思う。
- いろいろな分野で活躍されている方の講話を聞くことによって、組織力や学級経営、教育のグローバル化、構成的グループエンカウンターなどについて考え、学習指導にすぐに生かすことができた。発声法の講義実習の内容は、子どもたちにも好評で、音楽の楽しさを改めて感じる事ができた。

4 授業実践とその参観に対する所感

- 1つの題材について十分に教材研究を行い、授業実践することは、私たち自身にとって大変勉強になった。新たな課題が見つかり、授業改善に向けて今後の指導への意欲が湧いてくるものであった。
- 新しい指導方法や授業改善の工夫を教え合い、学習指導計画や学習指導過程について振り返ることができた。ねらいを達成させるための支援についても、活用の方法によって子どもたちの考えが深まる事が分かった。



●藤岡市立平井小学校 浅見 礼子教諭
●大泉町立北小学校 岡田 健児教諭

●浅見 礼子教諭
●岡田 健児教諭

